

Press Release (H30/7/30)

武田 純 岐阜大学名誉教授（元 医学系研究科）が
公益社団法人 日本糖尿病協会
「アレテウス賞」を受賞
（平成30年7月28日、授賞式、受賞講演が行われました）

【日本糖尿病協会とは】

日本糖尿病協会は、糖尿病を克服し国民の健康の増進に寄与することを目的に、「糖尿病の予防と療養についての正しい知識の普及啓発」、「患者・家族と広く予備群の方々への療養支援」、「国民の糖尿病の予防と健康増進のための調査研究」、「国際糖尿病連合の一員として糖尿病の撲滅を目的とした国際交流」などの事業を行う公益社団法人です。全国の会員数は10万5千人。

【アレテウス賞とは】

日本糖尿病協会の最高賞であり、国内外における糖尿病医療への学術的貢献が顕著であり、かつ教育や患者会活動を通じた糖尿病治療や療養指導への貢献が著しい医療従事者に授与されます。

第6回日本糖尿病療養指導学術集会（7月28-29日、京都国際会議場）の初日にアレテウス賞の授賞式と受賞講演が行われました。

【受賞理由とその概要】

（受賞理由）

「糖尿病の療養指導の質向上における卓越した実績」

（学術的貢献）

糖尿病は遺伝素因の濃厚な疾患ですが、糖尿病の特徴であるインスリン分泌不全に関する遺伝素因の解明に貢献しました。特に、若年発症糖尿病に関する原因遺伝子の発見と病態解明の功績が顕著であり、平成27年には日本糖尿病学会から「ハーゲドーン賞」が授与されています。

(糖尿病治療と療養指導への貢献)

糖尿病医療の質の全国均てん化を目指し、糖尿病を専門としない医師や歯科医師を対象とする「登録医療養指導医制度」の設立と全国展開に尽力しました。同時に、看護師や栄養士などの医療スタッフを対象とした「地域糖尿病療養指導士(CDEL)」の育成の重要性を提唱し、「CDEネットワーク」を設立して全国展開しました。さらに、糖尿病チーム医療において重要な役割を担う専門指導者の育成と情報交換の場を設けるために、2012年に職域を越えた療養指導学術集会を設立し、第1回の会長を務めました。同時に、糖尿病の療養指導に特化した専門誌も創刊し、糖尿病チーム医療の全国的な普及啓発に努めました。

これらの貢献により、糖尿病患者に治療と生活指導の質向上がもたらされました。

(岐阜県の糖尿病の地域医療への貢献)

岐阜県内の医師会、行政、各種職域団体と連携して、「岐阜県CDEネットワーク」を設立し、県内の療養指導者の育成に尽力しました。良質の療養指導の提供は患者の生活質に直結します。県民に対する予防啓発として、「世界糖尿病デー」のイベントや市民公開講座などの活動に長く携わってきました。糖尿病の患者さんに対しては、岐阜県糖尿病協会の会長として、県内34ヶ所の「友の会」の運営を指導し、病気の理解度の向上、合併症の予防推進、生活質の向上に多大なる貢献をしてきました。

【参考URL】

<https://www.nittokyo.or.jp/> (日本糖尿病協会のホームページ)

<https://www.nittokyo.or.jp/modules/meeting/>

(第6回日本糖尿病療養指導学術集会(7月28-29日)のホームページ)

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学名誉教授(元 大学院医学系研究科(内分泌代謝病態学)) 武田 純(たけだ じゅん)

TEL: 058-230-6377(直通、大学秘書)

E-mail: jtakeda@gifu-u.ac.jp (大学)

jtakedatruck@yahoo.co.jp (個人)

携帯電話: 090-6390-0130(本人)

現在の勤務先: 康生会武田病院 病院長

〒600-6558 京都市下京区塩小路通西洞院東入